

eKo Pro Series Starter Kit クイックマニュアル

この度は無線センサネット eKo をお買い上げいただきありがとうございます。本紙ではセットアップ方法を簡単に説明いたします。ご不明な点はユーザマニュアルをご参照ください。

[1] 内容物の確認 EK2110 の場合

- | | |
|------------------|-----------------|
| ①EN2100J eKo ノード | 4 個 |
| ②EG2100 ゲートウェイ | 1 個 |
| ③EB2110J 無線基地局 | 1 個 |
| 各種センサ | オプションとして購入された個数 |



[2] ゲートウェイの接続

ゲートウェイを箱から取り出し、右図のように背面の接続をします。

- a: LAN (またはパソコン※) に接続
- b: 無線基地局に接続 (同梱の USB ケーブル使用)
- c: 同梱の USB フラッシュメモリ を挿入
- d: 電源アダプタを接続

電源アダプタを接続すると同時に電源が入りますので、Disk1 の LED が緑に点灯するまで 1~2 分そのまま

にしてください。内蔵充電式乾電池は太陽電池により自動的に充電されます (ユーザマニュアル参照。電池は消耗品につき保証対象外)



注意：ゲートウェイからケーブルを抜くときは必ずゲートウェイの電源が切れてからにしてください。前面の電源ボタンを押してから 40 秒程度経過してから電源が切れます。

※ゲートウェイは DHCP になっており LAN から自動的に IP を取得するようになっております。パソコンにつなぐ場合は市販のルータを介するか、または直接接続する場合はクロスケーブルを使用し、パソコンの IP を 192.168.1.1, サブネットマスクを 255.255.255.0, デフォルトゲートウェイを 192.168.1.1 に設定します (詳細巻末)。

LAN 上のパソコン (もしくは直接つないだパソコン) のブラウザで URL を eko-***** (*****はゲートウェイの底面にある製造番号) と入力すると、eKoView のログイン画面が出てきます。

Username は admin、Password は crossbow でログインしてください。

ゲートウェイは米国西部標準時間で初期設定されていますので、ユーザマニュアル 7.3.4 項 (ログインは 7.2 項にある user) を参照して時間帯を変更してください。(この作業は後からでもかまいません)

[3] eKo ノードの設定

ノードを基地局から 6 メートル以内に置き、底面の ON ボタンを押します。

LED が赤で 4 回点灯しますが、これは底面にある 4 つのセンサポートが未接続である状態を示します。もしセンサが接続済みでしたらそのポート分だけ緑に点灯します。

4 回の点灯のあと、白で点滅が始まります。これは基地局と通信を試みている状態を示します。

ここで eKoView の Configure (設定) タブをクリックし Configure Nodes をクリックすると Configure Nodes 画面になります。Serial No.と書いてある横のドロップダウン欄に通信しようとしているノードのシリアルナンバーが表示されているはずですが、

表示されているシリアルナンバーが ON ボタンを押したノードの番号と同じであることを確認したら Accept (承認) をクリックします。これで当該ノードはネットワークへの参加が承認されます。ノードはゲートウェイによって自動的に割り当てられる昇順の ID (標識番号) が与えられます。画面に表示される ID 番号を、同梱の番号シールでノード現物に貼ると、この後の作業が便利になります。

Accept をクリックするとノードの LED は青で約 1 分間点滅したあと 20 秒間黄色になります。これは基地局との通信が良好であることを示します。もしネットワークへ既に参加した別のノードが近くにあれば LED は緑色になり、これは基地局への通信が 2 経路以上確立していることを示します。もし LED が赤なら基地局と通信未確立ですので、基地局の PWR およびゲートウェイの Disk2 が点灯しているか確認してください。

上記の手順ですべてのノードをネットワークに参加させた後、eKoView で Sensor タブをクリックすると eKo ノードのアイコンが ID 番号と共に画面左側に表示されているはずですが、ここで Node 0 とは基地局のことです。



ここで一旦、すべてのノードの電源を OFF ボタンを押して切ってください。

[4] eKo システムを屋外に配置する

基地局は屋外へ電波が届きやすい場所を選びます。金属物がノードとの間にあったり、ワイヤ入りのガラスなどは不利になります。もしノードが基地局から電波的に遠い場所である場合は、ノードと基地局の間に中継させるためのノードを置くことが推奨されます。中継させるノードにセンサはつけてもつけなくても構いません。また、中継ノードは何個あっても構いません。ゲートウェイはなるべく市販の無停電電源を使うべきでしょう。可能な限りノードの地上高は高く、樹木など障害物がないほうが望ましいでしょう。

ノードを通信想定範囲内に設置し、ON ボタンを押すと前述のような順序で LED が点灯し、基地局と通信できておれば最終 20 秒の点灯が黄色か緑色になります。もし赤色でしたら基地局に近づけるか、中継ノードを基地局との中間に設置します。

センサを装着したときは再度 ON ボタンを押してください。

[5] eKoView でマップ画面をつくる

ノードを配置したエリアの見取り図 (マップ) を JPG ファイル形式で作ります。Sensor タブ画面にある Upload ボタンをクリックし、その JPG を指定するとマップが eKoView に表示されます。左側の [Unpositioned] の下にあるノード・アイコンをマップ上にドラッグし、実際の位置がわかるようにします。SAVE をクリックしてその位置を保存します。

Configure タブにある Configure Nodes 画面の Details をクリックするとノードやセンサ名を変更できます。

Chart タブで、New Chart をクリックして好みのチャート (グラフ) を作ります。Chart Name はチャート名、Select a date range はチャート表示時間 (日数)、Axis-1 は左側縦軸、Axis-2 は右側縦軸、画面の左側でセンサ種類を指定、右側でノード番号を指定、LineGraph は折れ線グラフ、PointGraph は点グラフ、High-LowGraph は上下グラフです。OK をクリックするとグラフが現れます。変更する場合は Modify Chart で、最後に Save Chart で保存してください。

以前保存したチャートを使用する場合は Load Chart です。

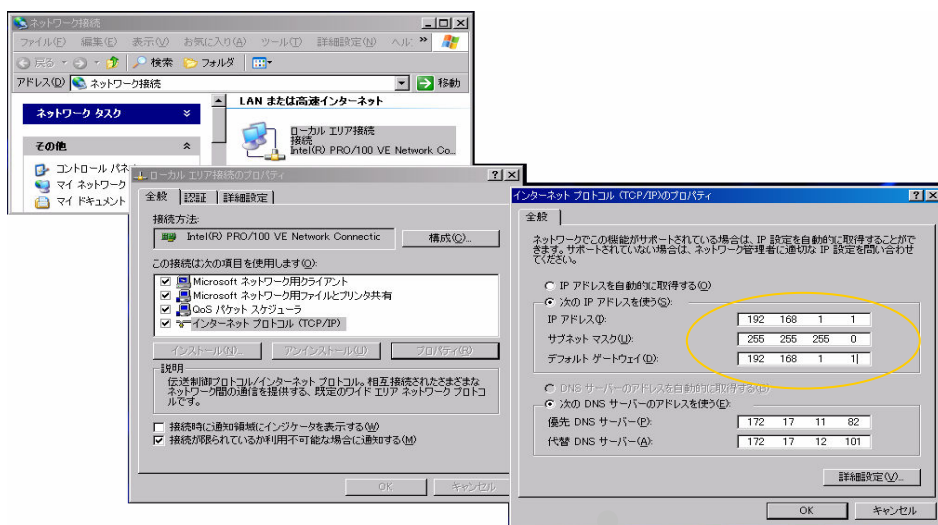
クイックマニュアルは以上です。 詳細はユーザマニュアルをご覧ください。なおマニュアルは EK2100 用ですが、取り扱い要領は同じですので EK2110 としても共通マニュアルになります。最新マニュアルへのリンクは www.xbow.jp/eKo.html からどうぞ。

ゲートウェイをクロスケーブルで直接パソコンに接続する場合の IP アドレスの設定方法 (XP の例) :

コントロールパネル > ネットワーク接続 > ローカルエリア接続 のプロパティ。

全般タブで「この接続は次の項目を使用します」のリストからインターネットプロトコル (TCP/IP) を選択し、プロパティをクリック。

「次の IP アドレスを使う」を選択し本文中にあるアドレスを入力し、OK ボタンをクリック。



仕様や情報は予告無く変更することがあります。eKo の使用が原因で起こりうる財産、人命、通信、システム等の傷害に関する責は当社では負いかねます。すべての説明、注意、指示を十分お読みになってから使用してください。クロスボウ株式会社は当製品またはソフトウェアの使用によりいかなる事故や損害が生じても一切の責任を負いません。ソフトウェア等に不備があった場合でも修正およびサポートの義務を負わないものとします。紛失した部品やお客様側で破損された部品およびそれらの取り付け費用は有償となり、同一品の入手が困難な場合は代替品になる場合があります。商品名、商標、社名はそれぞれの所有者に帰属します。

仕様や情報は予告無く変更することがあります。eKo の使用が原因で起こりうる財産、人命、通信、システム等の傷害に関する責は当社では負いかねます。すべての説明、注意、指示を十分お読みになってから使用してください。クロスボウ株式会社は当製品またはソフトウェアの使用によりいかなる事故や損害が生じても一切の責任を負いません。ソフトウェア等に不備があった場合でも修正およびサポートの義務を負わないものとします。紛失した部品やお客様側で破損された部品およびそれらの取り付け費用は有償となり、同一品の入手が困難な場合は代替品になる場合があります。商品名、商標、社名はそれぞれの所有者に帰属します。
